

JCS/TAWC 受賞者の学会参加報告(AHA2018/ESC2018)

AHA2018 に参加して

大阪大学大学院医学系研究科循環器内科学 ちむらみさと 千村美里

私はこの度、第5回 Travel Award for Women Cardiologists (JCS/TAWC) に選出していただき、2018年11月10日～12日にアメリカのシカゴで開催された American heart Association (AHA) scientific session 2018に参加してまいりました。AHA scientific session への参加は今回で5回目になりますが、今回は「Myocardial Technetium-99m sestamibi washout rate is useful to predict left ventricular reverse remodeling in patients with dilated cardiomyopathy」という題目で、ポスターセッションでの発表をさせていただきました。心筋血流トレーサーとして一般臨床で使用されている Tc-MIBI はミトコンドリア膜電位依存性にミトコンドリア内に取り込まれることが過去の実験で検証されておりますが、ミトコンドリアに何らかの障害が及びミトコンドリアの膜電位が低下すると Tc-MIBI を保持できなくなり洗い出し率 (washout) が亢進するといった原理を利用し、今回は拡張型心筋症患者に対し、安静2回 ^{99m}Tc -MIBI 心臓核医学検査を施行し、この検査から算出される washout rate を利用し、左室リバーシリモデリングの予測性に関して検討を行うという研究を行いました。海外の研究者の方々からは、心不全罹患歴と washout rate との関係性や心臓 MRI や経胸壁超音波検査など、他のモダリティと washout rate 亢進部位との関係性、心筋保護薬の投薬内容など、今後のこの研究の発展に関する、貴重なご意見やご質問をいただきました。これからも世界中の研究者との交流を継続し、世界の患者さんの役に立つ研究を推進していきたいと学会を通じて改めて感じました。最後に



図1



図2

なりますが、本学会に参加するにあたって助成をいただきました日本循環器学会、ダイバーシティ

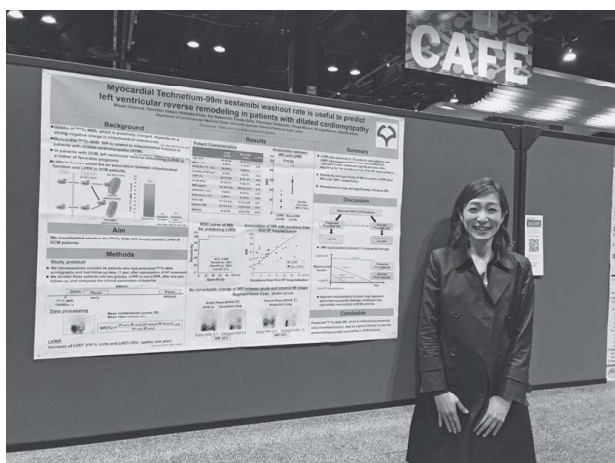


図 3

推進委員会の関係者の皆様方にこの場をお借りして心より感謝申し上げます。

著者の COI (conflicts of interest) 開示：本論文発表内容に関連して特に申告なし

*

*

*